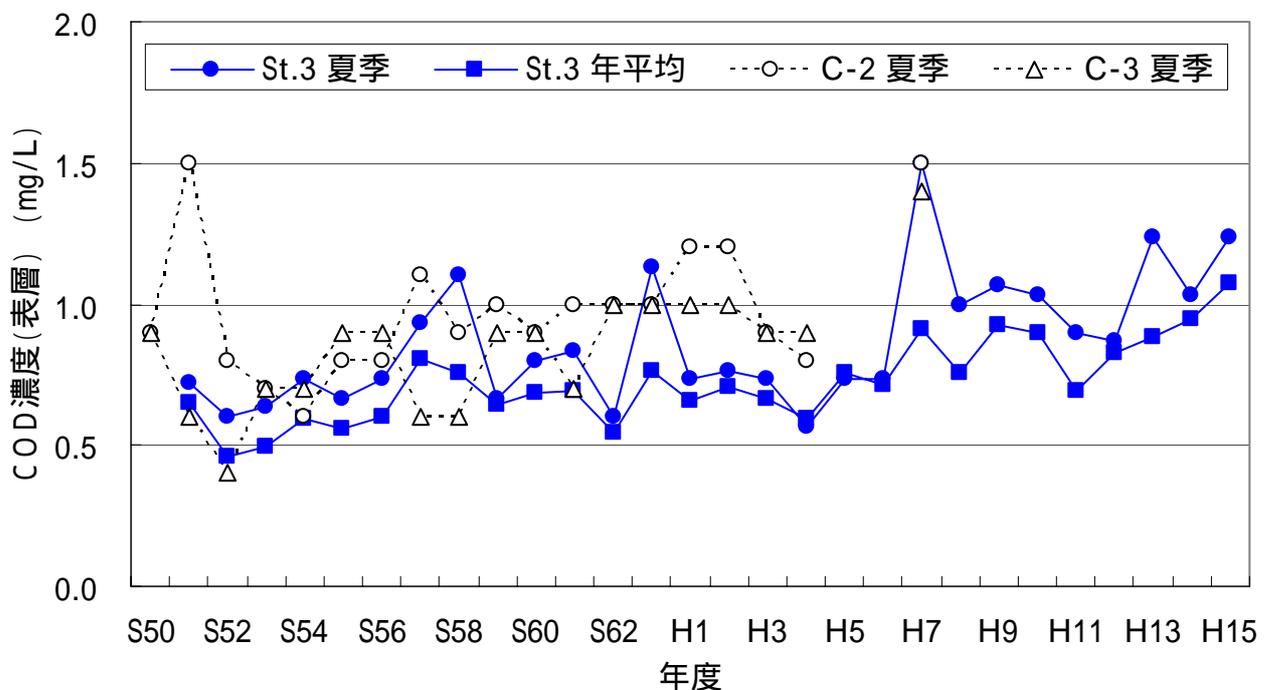


指定水域の外洋のCOD濃度の推移

1. 徳島県南部 St.3 におけるCOD濃度について

本地点(以下、St.3)は、太平洋に面する徳島県南部の沖合3kmに位置しており、毎月、徳島県が水質汚濁防止法に基づき水質常時監視を行っている。また、St.3のさらに沖合の太平洋では、環境省による海洋環境モニタリングが行われており、COD濃度が過去に測定されている。以下では、St.3と外洋における水質測定点(C-2及びC-3)のCOD濃度の推移を比較することで、St.3のCOD濃度を外洋のバックグラウンドと見なせるかどうか検討を行った(St.3、C-2及びC-3の位置を参考資料に示す)。

St.3とC-2及びC-3におけるCOD濃度の推移を比較した結果を図-1に示す。St.3におけるCOD濃度はC-2、C-3とほぼ同じ濃度レベルで推移し、また、変動の傾向に類似点が認められるため、St.3のCOD濃度は概ね外洋のCOD濃度と見なせると考えられる。



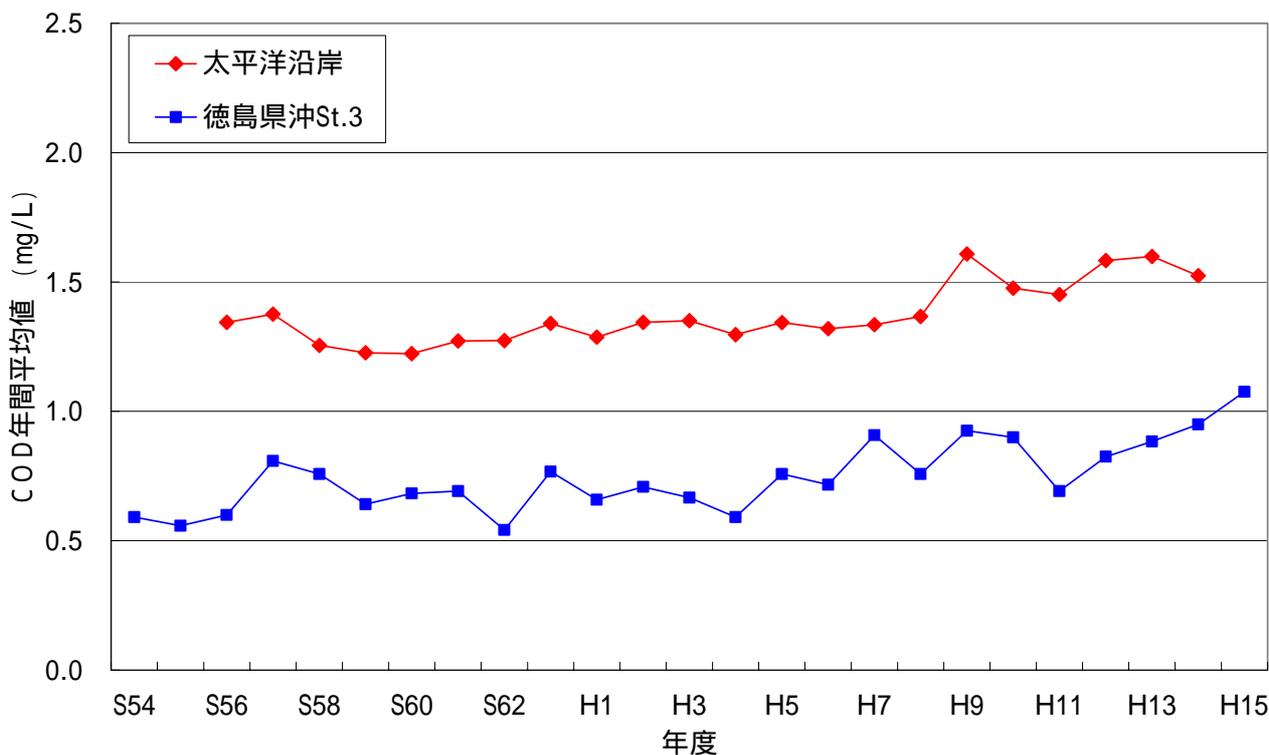
出典) 徳島県St.3: 公共用水域水質測定結果(徳島県)

C-2及びC-3: 日本近海海洋汚染実態調査(環境省)、海洋環境モニタリング調査(環境省)

図 - 1 徳島県沖 St.3 及び外洋のCOD濃度の推移

2. 太平洋沿岸におけるCOD濃度の推移

太平洋沿岸に沿って北上する黒潮の流路に近接する鹿児島県、宮崎県、大分県、高知県、徳島県、和歌山県、三重県、静岡県及び神奈川県におけるCOD濃度の推移を図-2に示す¹。なお、太平洋沿岸のCOD濃度は、前述の徳島県沖St.3を含めた年間平均値として算定している。この結果、St.3及び太平洋沿岸のCOD濃度は、いずれも長期的に上昇傾向を示していることが分かる。



備考) 太平洋沿岸の値は、鹿児島県から神奈川県までの沿岸における公共用水域水質測定点 150 地点の平均(東京湾、伊勢湾、瀬戸内海を除く)
 出典) 公共用水域水質測定結果

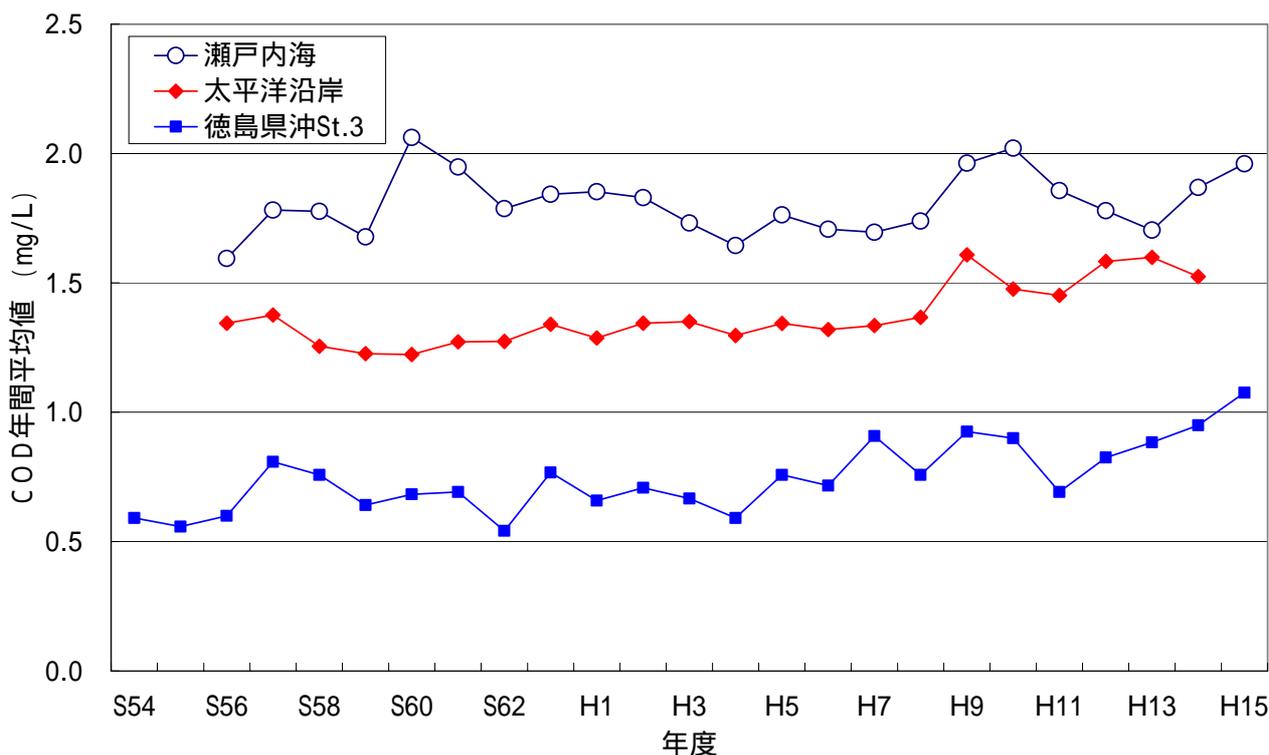
図 - 2 太平洋沿岸におけるCOD濃度の推移

¹ 千葉県及び愛知県も、黒潮の流路に近接するが、太平洋沿岸に環境基準点がないため、データには含まれない。

3. 瀬戸内海及び太平洋沿岸におけるCOD濃度の比較

前述の St.3、太平洋沿岸及び瀬戸内海全体のCOD濃度の経年変化を図 - 3 に示す。いずれのCOD濃度も、これまでの約25年の間に漸増する傾向を示している。

瀬戸内海は、東京湾及び伊勢湾と比較してCOD濃度が低く、水域面積あたりの汚濁負荷量が小さいことから、外洋におけるCOD濃度の変化の影響を受けやすい閉鎖性海域となっている。このようなことから、瀬戸内海におけるCOD濃度の漸増傾向は、外洋のCOD濃度の上昇が一因となっている可能性が考えられる。



備考) 太平洋沿岸の値は、鹿児島県から神奈川県までの沿岸における公共用水域水質測定点 150 地点の平均 (東京湾、伊勢湾、瀬戸内海を除く)

出典) 瀬戸内海のCOD濃度: 広域総合水質調査
太平洋沿岸及び徳島県沖のCOD濃度: 公共用水域水質測定結果

図 - 3 瀬戸内海及び太平洋沿岸におけるCOD濃度の比較

次に、参考として瀬戸内海全体と外洋のバックグラウンドとして考えられる徳島県沖 St.3 のCOD濃度の差を求め、その経年変化を図 - 4 に示す。

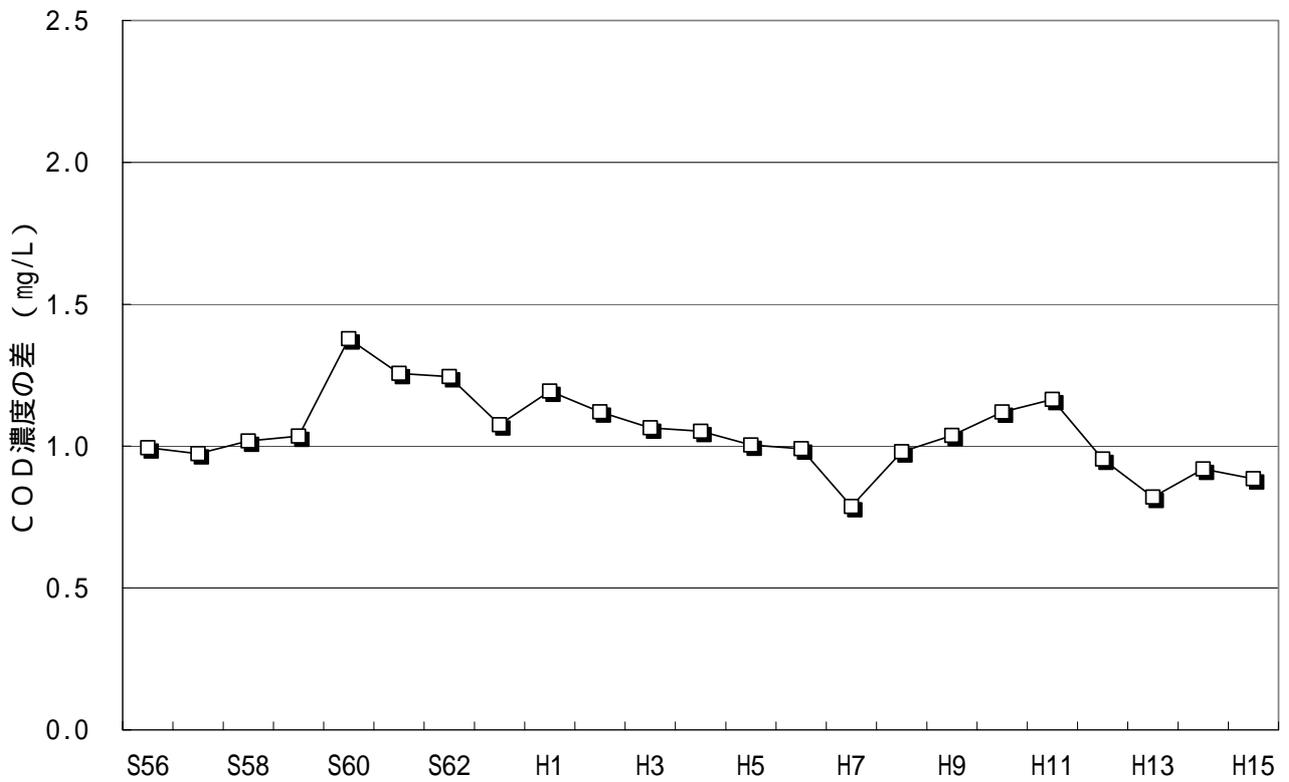
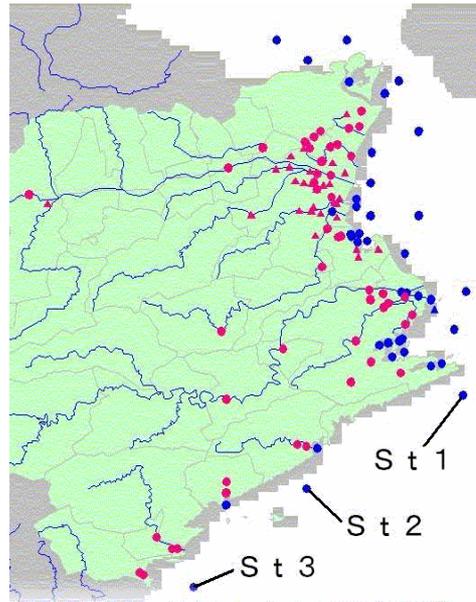


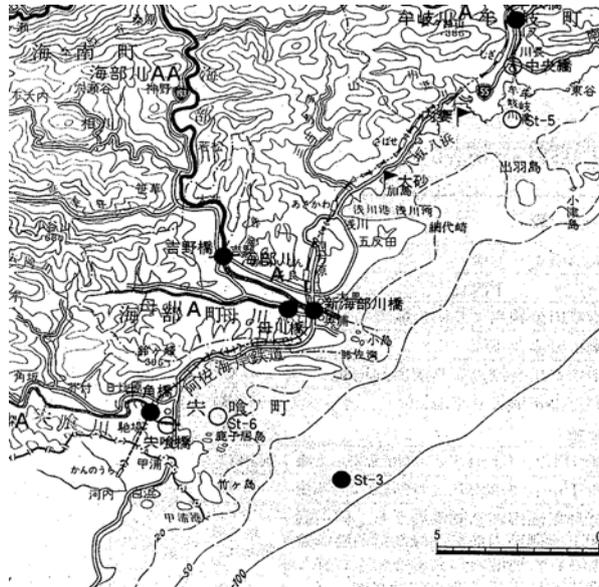
図 - 4 瀬戸内海全体と徳島県 St.3 のCOD濃度差の推移



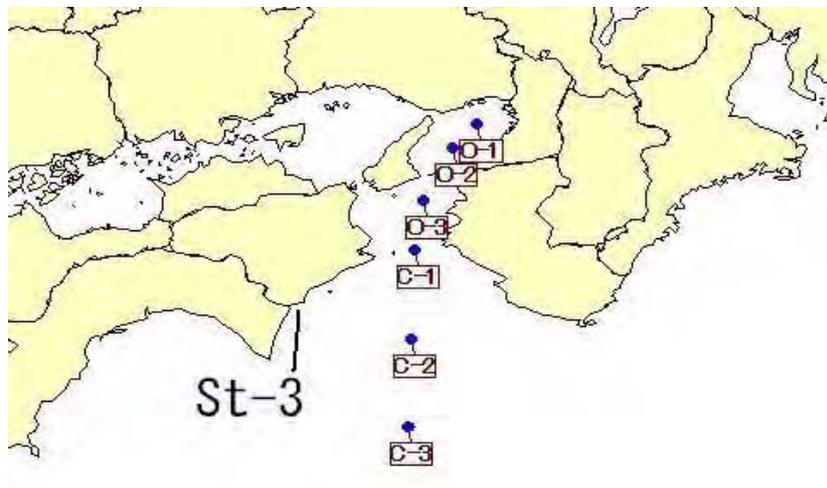
徳島県



徳島県の水質常時監視地点



徳島県南部 St.3 の位置



C-2 及び C-3 の位置